

# 「GCU 機能搭載 DFバーナによる 蒸発ガスの活用と処理の両立」

## 対象船舶 / 設備

- LNG 燃料タンク内で発生する蒸発ガス(可燃性ガス)を大気に放出することなくボイラの燃料として活用する
- 燃料タンク圧力上昇時の安全対応として、メタンを大気放出せずに安全に燃焼して処理でき、環境負荷軽減に貢献する



Vignis



軽油 / 13A 混焼

軽油: 39kg/h、13A: 約 300kg/h

## 技術情報 (特長)

- 1) 1～60t/h ボイラまでバーナ 1本で対応可能  
(製品名: 1t/h～6t/h Vignis、7t/h～60t/h SFFG II)
- 2) 各種燃料に対応可能
  - ・ LNG、HFO、MDO、MGO、原油 (LPG 焚きにも部品変更で対応)
  - ・ 自動での燃料切替に対応
  - ・ ガス組成が変化しても最適空気比を維持
  - ・ 各種燃料の試験を自社にて実施可能 (2000kg/h、蒸発量 25t/h 相当まで)
- 3) ガスとオイルを単独燃焼及び同時混焼することが可能 (自動切替)
  - ・ 同時混焼によりボイラ用バーナを GCU として機能
  - ・ 同時混焼により、不活性ガス 100% になるまで燃焼
  - ・ GCU モードを標準搭載
  - ・ GCU モードを活用することで GCU 搭載不要
  - ・ 大型 DF ボイラ用バーナで多くの実績があるフレームアイを採用、オイル～ガスの波長領域をカバー
  - ・ ガスの燃焼量変更範囲は 10:1、油は要求仕様により別途ご相談
- 4) より多くの蒸発ガスを処理することができるワイドレンジ型を製品化
- 5) 船舶における二元燃料 (ガス/油) の技術で 200 隻以上の LNG 燃料利用実績